

F's Company PRESENTS

観る童話

親子で
楽しむ

2021 winter

子供も大人も夢中になる

童話の世界を

『演劇』で楽しむ

全国で活躍する劇団が描く

『ちょっぴり大人な』童話劇で

『想像する』面白さを

お楽しみください



かにかに、こそこそ

日本民話

はなになりたい

すまいるママ

王様の耳はロバの耳

イソップ寓話

【にちじ】*開場は開演の30分前

2021年2月20日(土)【3回公演】

①10:30~ ②13:30~ ③16:30~

※公演時間は、各回とも約60分を予定しています。

【ぼしょ】三重県鈴鹿市飯野寺家町810番地 TEL059-384-7000

鈴鹿市文化会館けやきホール

【ちけっと】全席指定

一般(高校生以上) : 2,000円(税込)

こども(3歳以上) : 1,000円(税込)

親子ペア(大人1枚、子供1枚): 2,500円(税込)

※3歳よりご入場いただけます。

定員

各回
103名

12月11日(金)
販売開始

●新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

・ご入場までに、チケットの半券裏面に、氏名及び連絡先の記入をお願いします。 ・座席は新型コロナウイルス感染拡大対策がとれる配置とします。(ご家族は隣同士でお座りいただけます。)

・発熱や咳等の風邪症状の見られる方は来場をお控えください。 ・ご来場の際は、マスク着用、検温・消毒にご協力ください。

【主催】(公財)鈴鹿市文化振興事業団 【共催】こどもサポート鈴鹿 【企画制作】F's Company ARTE 【助成】(公財)岡田文化財団

F's Company PRESENTS 親子で楽しむ
観る童話
 2021 winter



文化芸術に触れることは、豊かな生活を送る上でとても大切なことです。特に演劇は、想像力を豊かにし、他人を思いやるために、とても大きな力を発揮します。ぜひ劇場に来て、日本全国で活躍する演出家や役者たちが描く「ちょっぴり大人な童話の世界」を楽しんでください。
 この作品に、あなたの心、触れてみませんか？

2021年
 2月20日(土) 3回公演 開場は開演の30分前
 ①10:30~11:30 ②13:30~14:30 ③16:30~17:30

【作品名】かにかに、こそこそ 【スタッフ】
 【作】日本民話 総合演出/福田修志
 【団体名】あうんの会 技術スタッフ/(有)現場サイド
 【演 出】油田晃 イラスト/阿比留由貴
 【出 演】川田章子・山形龍平

【作品名】はなになりたい F's Company ARTE
 【作】*すまいるママ*
 【出版】東京書店株式会社
 【団体名】F's Company
 【演 出】福田修志
 【出 演】田中俊亮・松本恵

【作品名】王様の耳はロバの耳
 【作】イソップ寓話
 【団体名】百景社
 【演 出】志賀亮史
 【出 演】国末武・山本晃子・鬼頭愛

【チケット】 全席指定席
 一般(高校生以上) : 2,000円(税込)
 こども(3歳以上) : 1,000円(税込)
 親子ペア(大人1枚、子供1枚): 2,500円(税込)
 《一般、こども各1枚》
 ※この公演は3歳からご入場いただけます

【チケット取扱】
 9時から: 鈴鹿市文化振興事業団
 オープン時から: 鈴鹿市観光協会・鈴鹿ハンター
 コメリ書房鈴鹿店・亀山市文化会館
 こどもサポート鈴鹿
 10時から: チケットぴあ《Pコード 503-871》
 中日新聞販売店
 WEBサービス: エムズネット(三重県文化会館WEBチケットサービス)

※購入以後のチケットの交換・再発行はお断りします
 ※チケットぴあ、エムズネット以外は電話予約できません
 ※入場時、マスクの着用、手指の消毒、検温にご協力いただき、ご入場までに、チケット半券に氏名、住所、連絡先をご記入いただけますようご協力をお願いいたします。



【出演団体プロフィール】



三重県津市の民間劇場津あけぼの座がプロデュースするユニット。作品毎に、キャスト・スタッフを選定して創作を行っていく。これまでにオリジナル作品として小菅紘史(第七劇場)・坂口修一出演の二人芝居「海につくまで(作:関戸哲也)」「ラウンド・アバウト・ミッドナイト(作:弦巻啓太)」、親子向け作品として「サーカスのライオン」「まほうつかいのでし」「ギアッコ少年と豆」などを製作。



1997年に旗揚げ。長崎を拠点に活動を続け、九州内外で作品を上演し続けている。現代社会の中に潜む人間の弱さを寓話化して描く作風が多く長崎弁を作品の中に取り入れるなど、地域から生まれる演劇を大切にしている。また、短編オムニバス公演や、劇団内ユニットの公演を定期的に行うなど、演劇に触れやすい環境作りにも取り組み、学校や地域での演劇ワークショップも積極的に行っている。



2000年結成。以降、茨城県南を中心に活動を行う。文学作品や古典作品を扱いつつ、演劇の新たな可能性と、演劇でしか出来ないことを考えながら、作品を創作している。2009年に利賀演劇人コンクール優秀演劇人賞を受賞。それ以降、拠点の茨城だけでなく、日本各地、また台湾、中国、韓国といった海外での上演も行っている。2013年に茨城県土浦市にアトリエを構えてからは、百景社作品以外にも日本各地や海外からの団体を招聘するなど地域の芸術文化の拠点とするべく、活動している。

鈴鹿市文化会館へのアクセス
 ・近鉄鈴鹿市駅から鈴鹿市文化会館行きの三交バスまたはタクシーで約4分
 ・三交バス鈴鹿市文化会館から徒歩で約1分
 〒513-0802 三重県鈴鹿市飯野寺家町810 TEL 059-384-7000

